

リユー 此絃は役に立ちません。

ブルー まだ弾いてゐる氣だ。……リユーシヤス、起きろ！

リユー へい！

ブルー リユーシヤス、夢を見てゐたか？ 汝は大きな聲をしたぞ。

リユー わたくしは存じません、大きな聲をしましたのを。

ブルー いや、した、何か見たか？

リユー いゝえ、何にも見ません。

ブルー 眠ろ、又眠ろ。……こら、クロードイヤス！（ワーローに）こらこ

ら！ 起きろ！

ブルー へい！

クロード へい！

ブルー 何故お前たちはあんな大きな聲をした、眠てゐて？

クロード へ、いたしましたか？

ブルー うん。何か見たか？

ワーロー いゝえ、わたくしは何にも見ません。

クロード 手前も何にも。

ブルー あつちへ往つてカシヤスどのに宜しくと言って、それから早朝に部下をひきゐて先發してくれられるやう傳へてくれ、われ〜は後から往くから。

ワーロー かしこまりました。

皆々入る。

第五幕

第一場　　フィリップパイの平原。

オクテীগヤス、アントニー及び其軍勢出る。

オクテ

アントニー、到頭此方が望んだ通りになりましたぞ。貴下は、敵は侵つて来ないで、岡の方や小高い場處を守るだらうと言はれたが、さうでなかつた。敵の軍隊は咫尺に迫りました。彼等は此處で、フィリップパイで、此方から仕掛けんうちに逆襲する積りと見えます。

アント

へッ！ 彼奴等の腹は分り切つてゐる、予は何故彼等がさうするかを知つてゐる。内々は他處にゐたいのであるが、わざと怖ろしげな

擬勢を示して侵つて来たのです、かういふ様子を見せたなら、勇敢な敵だといふ感じを吾々に與へるだらうと思つて。ところが、ねッから勇敢ぢやアない。

使者出る。

使者

將軍がた、御準備なさい。敵はいかにも勇敢げに寄せてまゐりまする。血の色をした開戦の目標を陣頭に掲げてをります。直に何かせねばなりません。

アント

オクテীগヤス、しづかに貴下の軍隊をお進めなさい、平原の左手の方へ。

オクテ

予は右手へ往きます。左は君に頼まう。何故、かういふ際どい場合に、予に反對をなさるんだ？

オクテ

反對ぢやアない。が、予は反對側へ往きます。

進軍の樂。

太鼓。ブルータス、カシヤス及び其軍隊出る。リユーシリ

ヤス、チ、ニヤス、メッセーラ及び其他も出る。

ブルー 敵は、止つた所を見ると、陣頭會見をする氣らしい。

カシヤ チ、ニヤス、君はちゃんと控へてゐて下さい。吾々は出ていって問

答をせにやならん。

オクテ マーク・アントニー、開戦の合圖を與へようか？

アント いや、シーザー、先方から掛かるのを俟つて應じませう。……陣

頭へお進みなさい。敵將共は何か言はうとするのらしい。

オクテ (軍隊に)合圖をするまで動くな。

ブルー (アントニーらに對つて)手を下すに先だつて言を盡す。國人よ、さや

うか？

オクテ お前たちのやうに、手を下すよりも、言を弄することを好むが爲で

はないぞ。

ブルー オクテ・ギヤス、正しい言は邪曲な手に優りますぞ。

アント ブルータス、君は正しい言を口にしながら邪曲な手を下した男

だ。シーザーの胸部を貫きながら、君は「シーザー萬歳！」と叫

んだ男だ。

カシヤ アントニー、君の手の味はまだ知らんが、君の言は實に甘い、ハイ

ブラの蜜蜂も爲に其蜜を奪はれちまふ。

アント 刺をも奪はれはしませんかな？

ブルー おゝ、其通り、其聲までも奪つたのだ。それなればこそ、刺す前

にがやゝと口がしこく人を威す。

アント 奸賊めら！ 汝らこそさうしたのだ、シーザーの身邊へ群り競つて

卑劣な短剣を揮つた時分に。 汝らが猿のやうに齒を露し、獵犬のやうに尻尾を揮り、奴隷のやうに腰を屈め、シーザーの足に接吻してゐる其途端に、罰當りのカスカガ、臆病犬の如く後から飛びかゝつて、シーザーの頸 元を研つたのだ。 おゝ、此諂諛者めら！

カシヤ

諂諛者だ！……おい、ブルータス、御自分に禮をお言ひなさい、今日こんな無禮な雑言を聞くことはなかつたんだ、若しカシヤスの言ふことが通つてゐたなら。

オクテ

さア、開戦！ 言葉戦にすら汗を流すやうなら、實際の勝負では血の汗を流すであらうぞ。……見い。……徒黨の者に對して抜いた此劍が、何時鞘に戻ると思ふ？ シーザーが受けた三十三ヶ所の傷が 悉く復讐されるまでは、若しくは第二のシーザーまでが叛逆人の劍の錆とならん限りは、決して其鞘には戻らんぞよ。

ブルー

シーザー、お前さんは叛逆人に殺されることは出来まい、仲間中に叛逆人がゐればとにかく。

オクテ

さうもあらう。ブルータスなんぞの手にかゝるやうにや生れついではゐない。

ブルー

おゝ、お前さんがどんな立派な血統の人であらうと、若輩者の癖に、ブルータスの手にかゝりや非常な名譽でありませうぞ。

カシヤ

いや、そんな名譽なんか與へるだけの價值もないやんちゃ小僧、それに同伴つて來たのは劇好の大酒家だ。

アント

依然たるカシヤスだ！

オクテ

さア、アントニー。 あつちへ！……叛逆人共、其雑言は汝等の面上へ叩き戻す。 敢て戦ふ勇氣があるなら、今日すぐ、戦場へ出る、で無きや氣の向いた時分に。

オクターギーヤス、アントニー及び其軍隊入る。

カシヤ さア、此上は、風が吹かうと、波が立たうと、船が泳がうとだ！  
暴風が来た以上、一かばちかだ。

ブルー こら！……リユーシリヤス、おい、ちよいと

リユー へい？

ブルー タスとリユーシリヤスとは立離れて耳語する。

カシヤ メッセーラ！

メッセ 何ですか、將軍？

カシヤ メッセーラ、今日は予の誕生日だ。カシヤスは丁度今日生れたんだ。手をくれ、メッセーラ。君、證據人になつてくれ、予は、不本意ながらポンピー同様に、吾々の大切至極な自由を悉く此一戦に賭してしまはんければならんことになつた。君の知つてる通り、

予は平生エピキュラスを信じ又其説を奉じてゐたが、今は心が變つて、物の前兆といふことを信じかけて来た。サーデイスから此處へ来る途中、二羽の大鷲が偶然陣頭の旗標の上へ降り止つて、兵士が手で以て與へる餌を貪り食ひ、フィリップイまでは従いて来たが、今朝になつて、何處へか飛去ちまつて、其代りに、鴉だの、鳶だのが吾軍の頭の上を飛び廻り、まるで吾々を死にかゝつてゐる餌食のやうに見下してゐる。彼奴等の影は不吉な忌はしい天蓋で、吾々は今にも亡者にならうとして、其下に臥てゐるといふ風に見える。そんな風にお信じにならんがよろしい。必ずしも信じぢやゐない、予は勇氣充滿してゐて、毅然としてあらゆる危険にぶつからうとしてゐるんだから。

ブルー (リユーシリヤスとの話を了りて) その通り、リユーシリヤス。

カシヤ

さて、ブルータス君、願はくは、今日神々の冥助によつて、戦ひに勝つて、お互ひに平和時代の親友となることを得て、老年までも睦しく暮りたいと思ひます！ 併し人生の事は常に不定ですから、萬一最悪の結果となつた場合には、如何すべきかといふことを考へておきませう。若し此戦ひが不利となれば、お話をするのもこれが最後です。其場合には貴下は如何なさる決心ですか？

ブルー

曾てケートーの自殺を……其理由は明かでないが……非難した其哲學上の原理に照して考へると、將に來らんとする災厄を恐れて、自ら命數を縮めるのは卑怯な振舞だと思ふ、むしろ忍耐して下界の吾々を支配する或高い力の攝理を俟つのが當然です。

カシヤ

ぢや、敗軍となつた場合に、貴下は捕虜となつて、ローマの街頭を引廻されるのを甘んじようといふのですか？

ブルー

いや、決して。貴下は立派なローマ人だ、ブルータスがローマへ引かれてゆくなぞと思ひなされるな。そんな目に逢ふには、彼の精神が大きい過ぎます。それはさうと、三月十五日に始めた業は今日を以て終局とせねばならん。お互ひに又と逢ふか、逢はんか、圖られんから、永訣をしておきませう。……いつまでも又いつまでも御機嫌ようお暮しなさい、カシヤス！ 若しまた逢へたら、此告別を笑はうし、逢へなしたら、よい時に告別をしたと思はう。

カシヤ

いつまでも又いつまでも御機嫌よろしうお暮しなさい、ブルータス！ 若し又逢へたら、いかにもお互ひに笑ひませう、若し逢へなしたら、成程、斯うして告別をしておけば、心残りが無いといふもんだ。

ブルー さア、此上は、進軍させよう。……おゝ！ 其日の仕事の結果を  
 豫め知ることが出来たならば！ 併し日に果がある以上は、やが  
 て事の果も知られる道理だ。……さア！ あっちへ！  
 一同入る。

第二場 同處。 戦場。

警鐘亂打。 ブルータスとメッセーラ出る。

ブルー メッセーラ、急いで、早馬で、此書類を向う側の諸隊へ渡して下さ  
 い。……

警鐘さわがしく鳴渡る。

すぐに攻掛らして下さい、オクテーギヤスの一翼は如何にも勇氣沮  
 喪して見えるから、突然襲撃すれば一みじきになるだらう。メッ

セーラ、早く、早く、大急ぎで。一度に攻掛らせて下さい。  
 二人とも入る。

第三場 戦場の他の一部。

警鐘亂打。 カシヤスとチ、ニヤス出る。

カシヤ おゝ、見たまへ、チ、ニヤス、見たまへ、どッ畜生共が逃げやアが  
 る！ つい予までが身方に對して敵の役をしっちまった。この旗手  
 めが逃出しやアがったので、即座に卑怯者を誅戮して、旗を取上げッ  
 ちまった。

チ、 おゝ、カシヤス！ ブルータスが早まって號令を掛けられたのです。  
 オクテーギヤスを襲って利を得たので、あの人の部下は好い氣にな  
 って、分捕なんかはじめてるうちに、此方は悉くアントニーに圍

まれてしまったのです。

ピングダラス出る。

ピングダ

もつと遠くへお逃げなさい、旦那さま、もつと遠くへ。マーク・アントニーがもう御陣所へ乗込みました！ ですから早くお逃げなさいまし、カシヤスさま、もつとずつと離れたところへ。

カシヤ

此丘はずつと離れてゐる。……あれを御覽、チ、ニヤス。あれは俺の天幕か、火の手の揚つてるのは？

チ、

はい、さやうです。

カシヤ

チ、ニヤス、若し君が予を思つてくれるなら、直に予の馬に乗つて、思ひ切り拍車を入れて、あれ、あの軍隊まで驅けて往つて又直に驅戻つて下さい。あの軍隊が敵だか、身方だかを確かめたい。すぐ戻つて参ります。

チ、

チ、ニヤス入る。

カシヤ

こら、ピングダラス、あの丘のずつと上へ登つて往け。俺の目は霞んで駄目だ。チ、ニヤスを氣を付けて見てゐて、戦場の模様を知らしてくれ。……

ピングダラス丘の上に登る。

けふは俺がはじめて生れた日だ。時運巡環して生を始めた日に生を終るんだ。俺の一生は一巡りしつちまつた。……やい、様子は如何だ？

ピングダ

(丘の上にて)おゝ、旦那さま！

カシヤ

どうしたんだ？

ピングダ

あれく、チ、ニヤスどのは、四方から驅けて来る騎兵に囲まれちまひます、あれく、騎兵が驅けて來ます。けれどもチ、ニヤ



スは尙ほ前へ驅けてゆかれます。あゝ、もう敵が迫りました。あ  
あ、もうチ、ニヤスは！あゝ、大ぶ降ります。おゝ、チ、ニヤ  
スも降りられました。あゝ、もう生捕られてしまひなすった！…

歡呼の聲聞える。

あれ〜！ 勝鬨を舉げてをります。

降りて来い。もう見るな。…おゝ！ 俺は卑怯者だ、大事の親  
友が鼻の前で、生捕られるのを見るまでも生きてゐるとは。…

カシヤ

ピンダラス降りて来る。

やい、こゝへ来い。…俺が汝をパーシヤで捕虜にした時に、命  
を助けてやつて、堅い約束をしておいた、俺が爲ると命ずる事は何  
でも必ず爲ると。さ、今、其約束を守れ。今日から自由の人間に

なれ。此、シーザーの腹を貫いた利劍で以て、此胸を貫け。…  
ぐづくしてゐるな。こら、此櫓を握れ。さうして俺が面をおほ  
つた途端に、それ斯ういふ風に、うまく劍を扱へ。…シーザー  
よ、お前の敵は討てるぞ、お前を殺した其同じ劍で。

ピンダラス突く。カシヤス死す。

ピンダ

これで俺は自由の身になった。が、若し俺の本心通りにしたら、  
自由にはなれなんだのだ。…おゝ、カシヤス！ピンダラスは  
今から遠い外國へ立退きます、二度とローマ人の目に掛らん遠い國  
へ。

ピンダラス入る。

チ、ニヤス先に、メッセーラ従いて出る。

メッセ

まア、取換だ、チ、ニヤス。オクテーギヤスがブルータスどの

の爲に大敗をしたんだから、ちようどカシヤスの一隊がアントニーに敗られたやうに。

チ、さう報道したなら、カシヤスも大きに心を慰められるだらう。

メッセ 君は何處で別れたんだ？

チ、此丘の上で。奴隷のピングラスと一しよに、全く落膽してをられた。

た。

メッセ 彼人ぢやないか？ 地上に倒れてゐるのは。

チ、生きてるやうぢやないぜ。……おゝ！

メッセ 彼人ぢやないのか？

チ、彼人ぢやない、彼人はもう此世にはゐなくなつちまつた。……おゝ、

沈んで行く太陽よ、眞赤な光線を浴びて、汝が闇へ沈むやうに、カシヤスといふ日輪も眞赤な血の中へ沈んぢまつた。ローマの太陽が

メッセ

沈んだんだ。吾々の日は暮れたんだ。雲も来い、露も来い、危険も来い。吾々の仕事は終つたんだ。俺が善い報を持つては来まいと思ひ過して、斯ういふことをせられたんだ。あゝ、迎も善い報は来まいと思つて、斯ういふことをせられたんだ。あゝ、怨めしいは誤解だ、悒鬱の産む誤解よ！ 何故ありもせぬ事があるやうに思はせて、人の心を惑はずぞ？ おゝ、誤解といふものは忽ち人心に胚胎れるが、決して安産はせんで、懐妊した母親を殺すのが定例だ。

チ、おい、ピングラス！ 何處にゐる、ピングラス？

メッセ 奴をお捜しなさい、チ、ニヤス、其間に、予はあつちへ往つてブル

ータスどのに逢つて、此事を知らせ、耳を突裂いて来よう。あゝ、突裂くんだ、こんな報知よりは鋭い鎗や毒を塗つた投箭の方がブル

チ、  
ータスの耳には有難からうから。  
急いで往つて下さい、メッセーラ、予は其間にピンダラスを捜さう。  
……

メッセーラ入る。

カシヤスどの、何故お前は俺を使にやつたんだ？ お前の親友達に俺は逢つたぢやないか？ そして彼等は俺の額に、此通り勝利の木葉冠を載つけてこれをお前に渡せといったぢやないか？ 歡呼の聲をお前は聞かなかつたのか？ あゝく！ お前は何かも誤解しつちまつたんだ。しかし、これをお取りなさい、お前の額へ此木葉冠をお載せなさい。お前の親友のブルータスが持つて渡せと言つたんだから、俺は其通りにする。……ブルータス、早く来て、俺がケーヤス・カシヤスを如何様に尊敬してゐたかを見てくれ。神々

様、御免下さい。これはローマ人の本分です。……さア、カシヤスの劍よ、チ、ニヤスの心を見て来い。

自ら心臓を貫いて死す。

警鐘亂打。メッセーラを先にブルータス、ケートー、ストレ

ートー、グーラムニヤス及びリユーシリヤス出る。

ブルー 何處に、何處に在る、メッセーラ、彼れの死骸は？

メッセ あれ、あそこに。チ、ニヤスが歎いてをります。

ブルー チ、ニヤスは仰向になつてゐる。

ケート 殺されてゐるんだ。

ブルー おゝ、デユリヤス・シーザー！ お前はまだ偉い力を有つてゐる。

お前の亡霊がさまよつてゐて、吾々をして手づから其肚を貫かしめるのだ。

低く警鐘聞える。

ケート 勇敢なチ、ニヤス！……御覽なさい！ カシヤスの死骸へ冠をかぶせましたのを。

ブルー 此二人のやうなローマ人が、尙二人と生きてゐようか？……（カシヤスの死骸に）全ローマ人の最後の典型、さやうなら！ ローマが二度とお前の同輩を養成しようとは望まれない。……諸君よ、予は此死人には、中々こんなことでは拂ひ盡されん涙の負債がある。：

：カシヤスよ、今に拂はうぞ、今に。……だから、さ、此死骸はサーソスへ送つて下さい。陣中では葬式を行ふまい、身方の勇氣を沮喪させる虞れがあるから。……さア、リユーシリヤス。さア、ケートー。さ、戰場へ、レービオとフレীগヤスとは軍隊を進めてくれ。ちょうど三時ぢや。ローマ人よ、夜にならんうちに

第二戦をして運命を試みようぞ。

一同入る。

第四場 戦場の他の一部。

警鐘亂打。 兩軍の兵士等闘ひつゝ出る。 其後、ブルータス、

ケートー、リユーシリヤス及び其他の者出る。

ブルー まだ、國人よ、おゝ！ まだ、頭を垂げては不可ぞ。

ケート ローマ人の血を受けた限りは、誰れが頭を垂げるものか？ 俺と一しよに進む者はないか？ 敵中を驅廻つて名を名宣つてくれよう。

やア、俺はマーカス・ケートーの一子だ。 専制君主の仇敵を以て任じ、國家の親友を以て居る所の、マーカス・ケートーの一子だ！

ブルー それから俺はブルータスだ、マーカス・ブルータスだ。國家の親友たるブルータスだ。ブルータスを見知っておけ。

二人ともに入る。

リュー おゝ、けなげなケートー！ お前もやられたか？ はて、チ、ニヤスに劣らない勇ましい最期だ、ケートーの子たるに恥ぢない名譽の戦死だ。

敵兵出る。

第一兵 抵抗すると、殺すぞ。

リュー 殺してくれるなら、抵抗しない。……さ、これだけお前に遣るから、直に殺してくれ。……

敵兵に金を與へる。

ブルータスを討取つてお前の手柄にしる。

第一兵 そりや出来ん。こりや容易ならん捕虜だ！

第二兵 おい、そこを開けたり！ アントニーに報告さつせ、ブルータスを生捕つたと。

第一兵 さうしよう。……あゝ、將軍が見えた。……

アントニー出る。

ブルータスを生捕りました、ブルータスを生捕りました。

アント 何處にブルータスがゐる？

リュー いや、アントニー、ブルータスは無事です。いかなる敵もブルータスを生捕にすることは出来ません。神々よ、願はくは彼れを護つてさういふ恥辱を與へさせられますな！ 生死ともに、ブルータスは、ブルータスらしくして、お目にかゝられませう。

アント こりやブルータスぢやない、が、此者を生捕つたのも立派な手柄だ。

取逃さんやうにして、十分鄭重に取扱へ。かういふ手合は敵にするよりも身方に有ちたい。……往けく。ブルータスの生死を取調べろ、一切の報告はオクテーギヤスの陣所へ持つて參れ。  
皆々入る。

第五場 戦場の他の一部。

ブルータス、ダーデーニヤス、クライタス、ストレートー及  
びブーラムニヤス出る。

ブルー さアく、打洩らされた身方の人達、此巖の上でお休みなさい。

クライ スタチリヤスが炬火を見せましたつけが、とうく戻つて來ませんでした。生捕られたか、殺されたか、どちらかでせう。

ブルー お掛けなさい、クライタス。殺すといふことが合言葉だ、又流行

の所行でもある。……ちよいと、クライタス。

耳語する。

クライ え、わたくしに？ いや、とんでもないことです、決して。

ブルー シッ！ ぢや黙つて。

クライ わたしは寧ろ自分をやります。

ブルー ちよいと、ダーデーニヤス。

又耳語する。

ダーデ どうしてそんな事をわたくしが！

クライ (ダーデーニヤスに) おム、ダーデーニヤス！

ダーデ おム、クライタス！

クライ 君に何かブルータスが不吉なことを頼んだのか？

ダーデ 殺してくれッて。……御覽なさい、何か考込んでをられる。

クライ あゝ、あの立派な器が悲歎で一ぱいになって目から溢れ出しさうになつてゐる。

ブルー こゝへ来てくれ、ヂーラムニヤス。ちよいと。

ヂラム 何でござりますか？

ブルー 外でもない、ヂーラムニヤス、シーザーの亡霊が二度まで、二晩までも出た。サーデイスで一度、それから昨夜、此フィリップイの原でも。予の死期が来たのだ。

ヂラム そんなことはありません。

ブルー いや、たしかに来たのだ。ヂーラムニヤス、世の事態は分つてゐるだらう。吾々は敵の爲に殆ど死地におとしいれられようとしてゐる。……

低く警鐘聞ゆる。

陥擠されるまで躊躇いてゐるよりは、自ら躍込んだほうが立派だ。ヂーラムニヤス、君は覚えてゐるだらう、二人で一しよに學校通ひしたことを。其昔の愛情があるなら、どうか此劍の標を持つてゐて下さい、予がそれへぶつつかるから。

ヂラム こりや友人のすべきことぢやありません。

警鐘尙つゞく。

クライ お逃げなさい！ ぐづくしちやをられません。

ブルー では、さやうなら。……さやうなら。……さやうなら、ヂーラムニヤス。……ストレートリー、汝は先刻から始終居眠つてゐたな。ストレートリー、さやうなら、汝も。……國人達よ、予は一生、中、未だ曾て一人と雖も予に對して不忠實であつた人を知らなんだので、實に嬉しく思ふ。戦争には負けても、予は、オクテーギヤス

やマーク・アントニーが卑劣な勝利で得る以上の榮譽を荷ひませう。  
……では、これが最後の告別の言葉だ、ブルータスの舌はこれで  
もう殆ど其一生の歴史を語り盡したのだから。夜が予の目におほ  
ひかゝつてゐる。予の骨は休息を求めてゐる、今日あるを期して  
多年働いて來た予の骨は。

警鐘。「逃げる〜！」と奥にて呼ぶ。

クライ 早くお逃げなさい、早く！

ブルー あつちへ〜！ 予は後から往く。……

クライタス、ダーデーニヤス及びゾーラムニヤス入る。

ストレートリー、どうぞ汝は留つて手助をしてくれ。汝は中々立派  
な男だ。名譽と言つても可い程の經歷のある男だ。だから、俺の  
此劍を持って、面をそつちへ向けてゐる、俺がぶつつかるから。可い

か、ストレートリー？

ストレ 其前にお手を下さいまし。……さやうなら。

ブルー さやうなら、ストレートリーよ。……シーザーよ、今こそ安心なさ

い。予はお前さんを此半分ほど甘んじては殺さなんだのだ。

ストレートリーが持つてゐる劍へ走りかゝり自ら貫いて死す。

警鐘。退陣。オクテীগヤス、アントニー、メッセーラ、

リユーシリヤス及び兵士等出る。

オクテ ありや何者だ？

メッセ 主人が使つてゐる者です。……ストレートリー、御主人は何處にござ

る？

ストレ メッセーラ、貴下のやうに捕つちやアござらない。勝つた手合だつて、

旦那を如何することも出來ん、焚くより外は。ブルータスどのは





ヂュリヤス・シーザー(完)

ヂュリヤス・シーザー

新修シェークスピア全集第二十六卷

著者 検印

譯者 坪内逍遙

發行者 木田開

東京市麴町區丸ノ内二丁目二ノ一

印刷者 堀修造

東京市牛込區榎町七番地

東京市麴町區丸ノ内二丁目丸ノ内ビルディング五九二區

發行所 中央公論社

振替口座東京三四番 電話丸ノ内五三五—五三七番

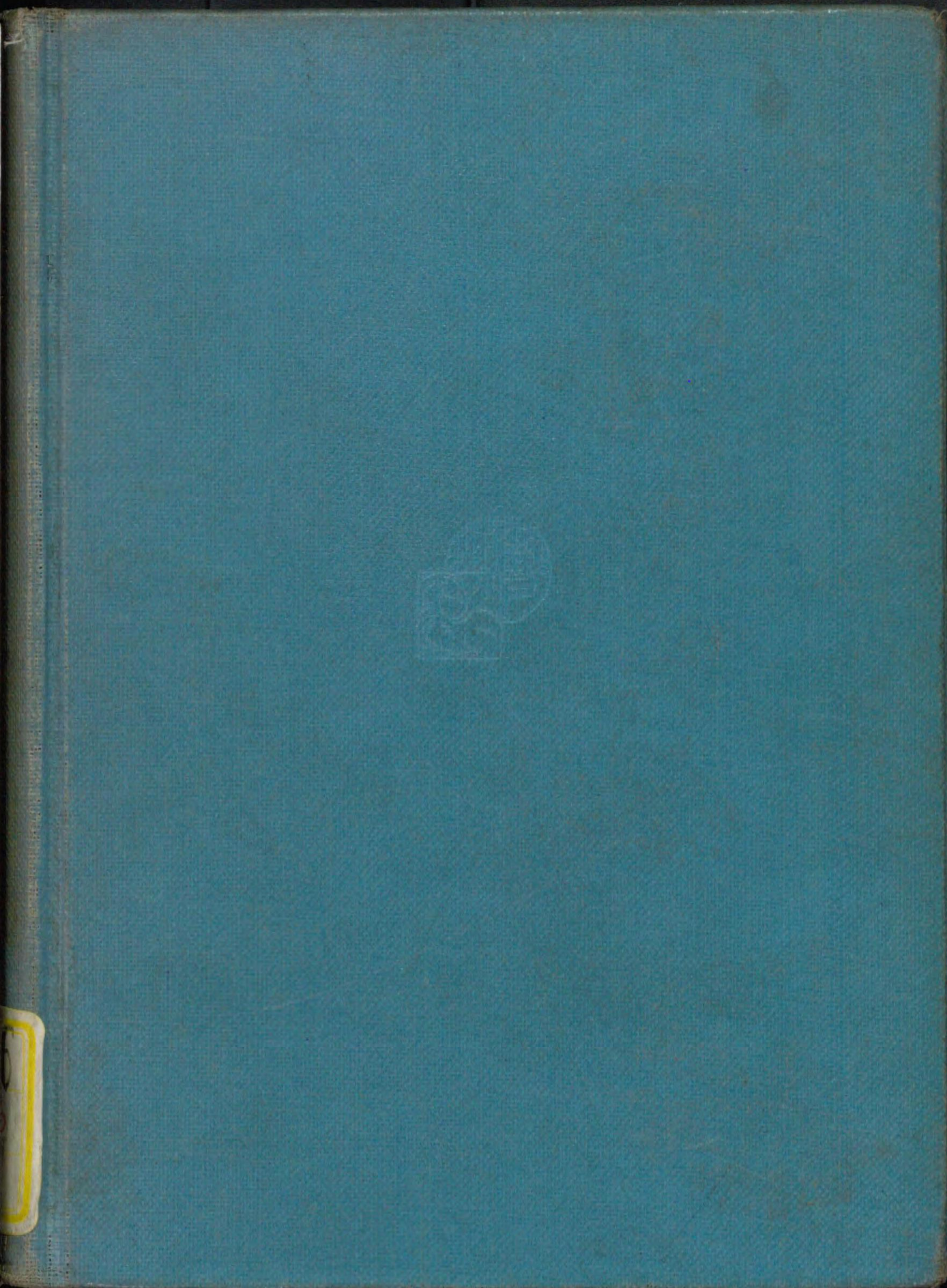
昭和九年二月廿五日印刷  
昭和九年三月三日發行

定價七十錢 豫約期間中に限り  
特價金五十錢

日清印刷株式會社

兩角製本

646
3

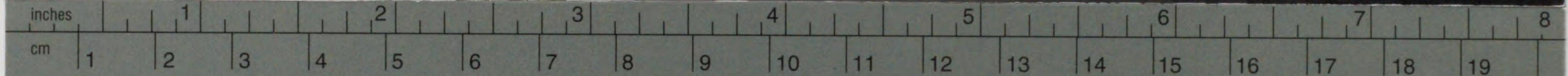


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

